

高知憲法速報

214 2009.11.13

発行：高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

「憲法9条で新しい国づくりへー憲法公布63周年・こうち九条の会結成5周年のつどいー」

11月7日午後、こうち九条の会が主催して「憲法公布63周年・こうち九条の会結成5周年のつどい」が高知市RKCホールで開かれ、260人が参加しました。

集会はこうち九条の会・谷脇和仁事務局長の司会で進行。代表の仮谷仁さんが開会挨拶、高知ミモザの会発刊「戦地から土佐への手紙」の一部朗読の後、名古屋共同法律事務所の中谷雄二弁護士が「平和的生存権を高くかかげて 憲法9条と日本の行方」と題して講演、青木宏治代表が閉会挨拶を行いました。

「戦地から土佐への手紙」は、戦地に赴いた兵士が土佐の家族にあてた手紙を収録・編集し、今年発刊され、大きな反響を呼びました。ミモザの会代表の松本暎子さんが出版のいきさつや背景に触れる挨拶。近藤計司、近藤久子さんが、ニューギニアで戦死した川村武茂さんの手紙と長女・川上元美さんの文書、フィリピンで戦死した土居益美さんの手紙と長女・井上美恵さんの文書を朗読し、参加者に感動を与えました。

名古屋の自衛隊イラク派兵差し止め訴訟の中心となった中谷雄二弁護士は「平和的生存権を高くかかげて 憲法9条と日本の行方」と題して講演しました。講演要旨は次の通りです。

イラク戦争はフセイン政権の大量破壊兵器保有を口実にした国際法違反の侵略戦争であった。イラク人の死者は65万人、国外難民はシリアに150万~200万人、ヨルダンに50万~75万人、国内避難民は200万人以上、ファルージャでの虐殺やバクダッドでの空爆などで膨大な犠牲を生んだ。アメリカ兵も4000人を超える死者を出している。日本は初めて地上部隊を戦闘地域に派兵したが、陸上自衛隊の活動実態は十分に公表されていない。航空自衛隊の輸送実績は最近の情報開示資料で黒塗り部分も明らかになり私たちの推定が正しかったことを裏付けた。掃討作戦に当たる武装米兵や多国籍軍兵士を運んでいた。イラク訴訟は名

古屋のほか札幌・仙台など11の地裁で提訴され、原告総数は約5800名、派兵差し止め・違憲確認・慰謝料請求の内容であった。名古屋高裁の判決は35年ぶりの違憲判決、平和的生存権を具体的権利として認められた画期的な判決だ。司法官僚機構の中で裁判官生命をかけるとも言える判決を決意させた要因は、イラクの悲惨な実態を伝えるとともに、多くの原告の心からの訴え、軍事国家化への危機意識・歴史認識の主張などの取り組みに支えられている。平和的生存権を活かすこと、誰かがやってくれるのでなく一人ひとりが考え行動することがいま求められている。

当面の行事・集会案内

- 11月16日(月)国民大運動・対県交渉 1:00~
- 11月19日(木)国民大運動・市役所前集会 6:00~
- 11月20日(金)岡本三夫広島修道大学名誉教授講演会
「オバマ政権の誕生と核軍縮の行方」2:50~4:20
高知大学人文学部主催 高知大学2号館231教室
岡本先生は平和学の第一人者です 入場無料
- 11月21日(土)九条の会街頭宣伝署名 1:30~
- 11月21日(土)浅尾大輔文学講演会5:30~ 草の家
「青年の苦悩の沸点に文学はどうこたえるか 現代の『蟹工船』と立ち上がる若者たち」主催・民主主義文学会高知支部、民青同盟県委員会 入場無料
- 12月5日(土)12・8平和のつどい・有馬頼底講演会
1:30~3:40 男女共同参画センター「ソーレ」
参加費1000円 学生500円 高校生以下無料
実行委員会主催 芝村和天さんの歌もあります
有馬さんは京都佛教会理事長で金閣寺・銀閣寺住職
演題「いのちの輝き それは平和であればこそ」
- 12月6日(日)介護保険シンポジウム 1:30~4:40
高知城ホール4階ホール 主催・高知自治労連
基調講演；高知女子大学教授・田中きよむ
シンポジスト；ケアマネージャー・重光廣子、介護保険利用者家族・中川恵子、特養ホーム職員・大畠幸喜、訪問看護師・藤原千恵

憲法会議街頭宣伝について

国民大運動実行委員会の集会と重なりますので、11月19日の街頭宣伝は中止します。12月19日は土曜日ですので「こうち九条の会」と合同で、午後1:30から帯屋町で実施します。計画してお集まりください。